

まん延防止 1-3 月期経済を下押し

- ★ 「**当面の経営上の問題点（複数回答）**」について、1位が「**需要の停滞**」の151社。2位が「**原材料価格の上昇**」の148社。「**従業員の不足**」が64社で3位。
- ★ 「**現在の雇用人員**」について、153社（57.1%）が「**適正**」と回答したのに対し、「**不足**」は106社（39.6%）と人手不足感が強くなっている。「**過剰**」と回答したのはわずか9社（3.4%）。
- ★ 「**今回（1月9日から）のまん延防止等重点措置に関してどのように考えているか**」について、最も多かったのが「**感染防止に対して、県民の意識を高めるという意味では良い**」の72社。以下、「**当然の措置である**」53社、「**人流抑制や医療崩壊回避に一定の効果がある**」52社と続く。

令和4年1~3月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

令和4年3月に実施した第128回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が128回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は272社（小売業80社、卸売業27社、製造業40社、建設業63社、運輸・交通業17社、観光・サービス業45社）で回収率は54.4%。

【概況】

今期（1~3月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲35.8と、3ヶ月前の前回調査から大幅悪化。業況が「かなり好転」と答えた事業所が0.4%、「やや好転」が12.5%で、逆に「やや悪化」が33.6%、「かなり悪化」が15.1%だった。売上DIも▲1.5から26.3ポイント悪化し▲27.8。採算DIも27.9ポイント悪化し▲41.3。原材料（商品）仕入価格は58.9から64.7とさらに上昇。昨年9月末に緊急事態宣言が解除されて以降、年末にかけて新型コロナの感染縮小が続き、落ち込んでいた個人消費や経済活動は持ち直し傾向を辿ってきたが、年明け早々の感染再拡大で状況が一変した。

今回事業所に対し、「まん延防止等重点措置に関してどのように考えているか」と尋ねたところ、「当然の措置である」19.9%（53社）と「人流抑制や医療崩壊回避に一定の効果がある」19.5%（52社）を合わせ約4割が賛成。回答数で最も多かった「感染拡大防止に対して、県民の意識を高めるという意味では良い」27.1%（72社）と「他に方法はないので、やらないよりは良い」6.0%（16社）の消極的賛成を含め、全体では約7割がまん延防止適用に一定の理解を示した。

ただ、コロナ感染拡大で経済活動に制限がかかり始めて2年が経過しながらも同じ施策が繰り返される現状で、「経済活動を止めるべきではない」9.4%（25社）、「まん延防止等重点措置はほとんど効果がない」6.4%（17社）、「飲食店以外に対しての対策を重点的に講じるべき」6.0%（16社）と回答した割合が2割強あったことは、今後、経済・社会活動を回復していく上では、見逃すことが出来ない。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

業況は、全業種合計で今期▲35.8。業種別では、建設業を除く5業種で悪化。まん延防止等重点措置の影響をもろに受けた観光・サービス業に加え、原油・原材料費の高騰で、製造業、運輸・交通業が大きく後退した。

売上は、全業種合計で今期▲27.8。業種別では業況同様、建設業を除く5業種で悪化。主な要因は、「まん延防止等重点措置」の影響やそれに伴う景気の低迷、取引先の減少などが挙げられた。

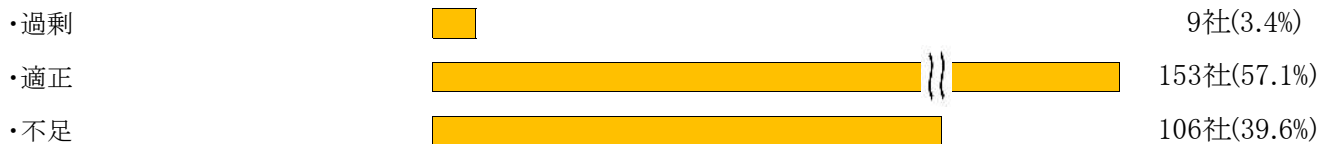
原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期64.7。原油価格高騰が直接的、間接的にあらゆる業種に影響を及ぼしている。半導体不足が深刻であるとの声も寄せられた。

採算は、全業種合計で今期▲41.3。すべての業種で悪化した。理由としては、ここでも「売上原価（仕入・原材料費）の上昇」や「コロナ（まん延防止等重点措置）」などが挙げられた。

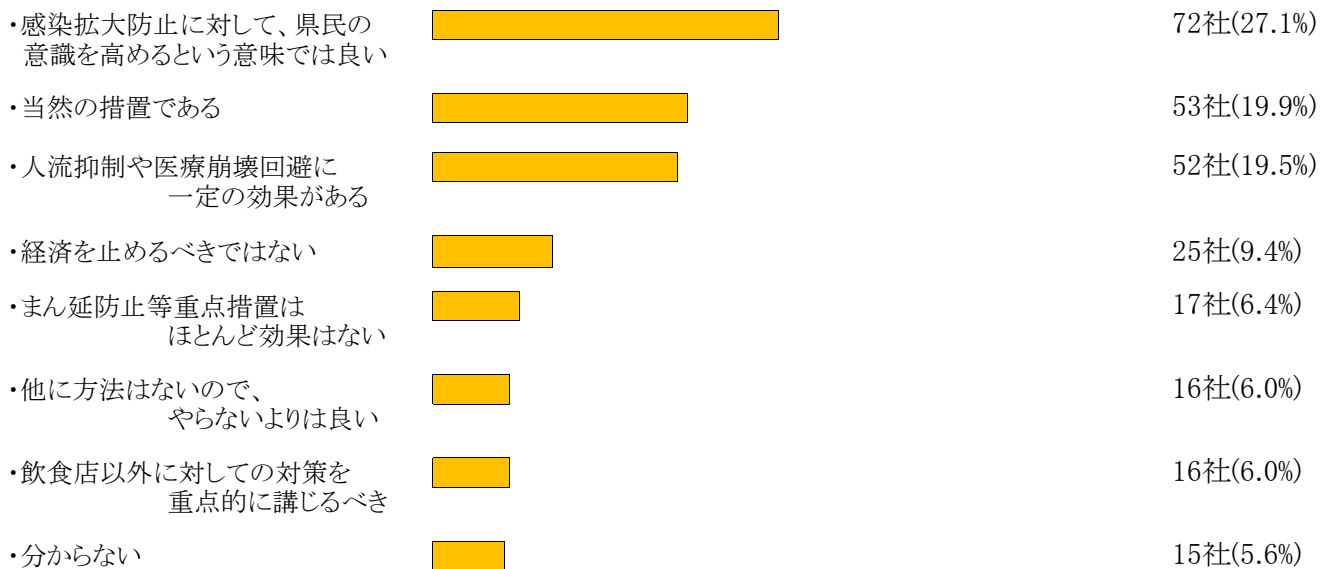
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



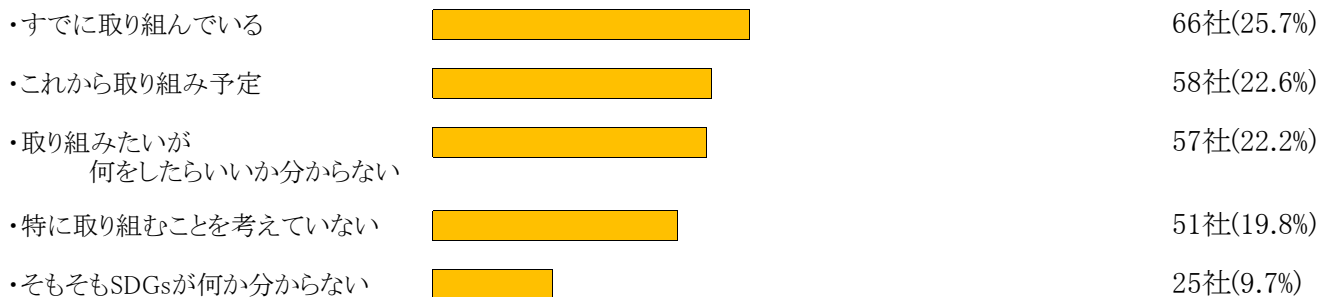
【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【今回(1月9日から)のまん延防止等重点措置に関してどのようにお考えですか？】



【SDGsに関する取り組みを行っていますか？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 35.8	▲ 35.3
小売業	▲ 46.3	▲ 38.5
卸売業	▲ 18.5	▲ 14.8
製造業	▲ 35.0	▲ 37.5
建設業	▲ 7.9	▲ 44.4
運輸・交通	▲ 47.1	▲ 47.1
サービス業	▲ 63.6	▲ 22.7

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 27.8	▲ 29.5
小売業	▲ 35.4	▲ 29.9
卸売業	▲ 11.1	▲ 18.5
製造業	▲ 22.5	▲ 30.0
建設業	0.0	▲ 33.3
運輸・交通	▲ 37.5	▲ 37.5
サービス業	▲ 64.4	▲ 26.7

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

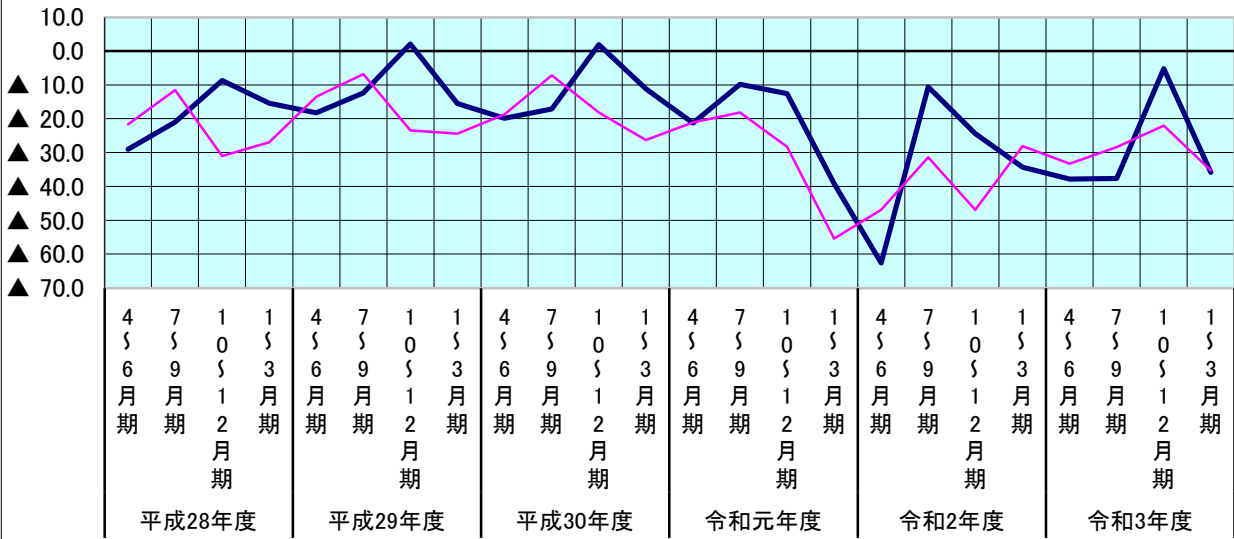
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 41.3	▲ 46.8
小売業	▲ 48.8	▲ 51.3
卸売業	▲ 25.9	▲ 37.0
製造業	▲ 35.0	▲ 40.0
建設業	▲ 19.0	▲ 50.8
運輸・交通	▲ 52.9	▲ 64.7
サービス業	▲ 70.5	▲ 38.6

(好転割合－悪化割合)

全業種

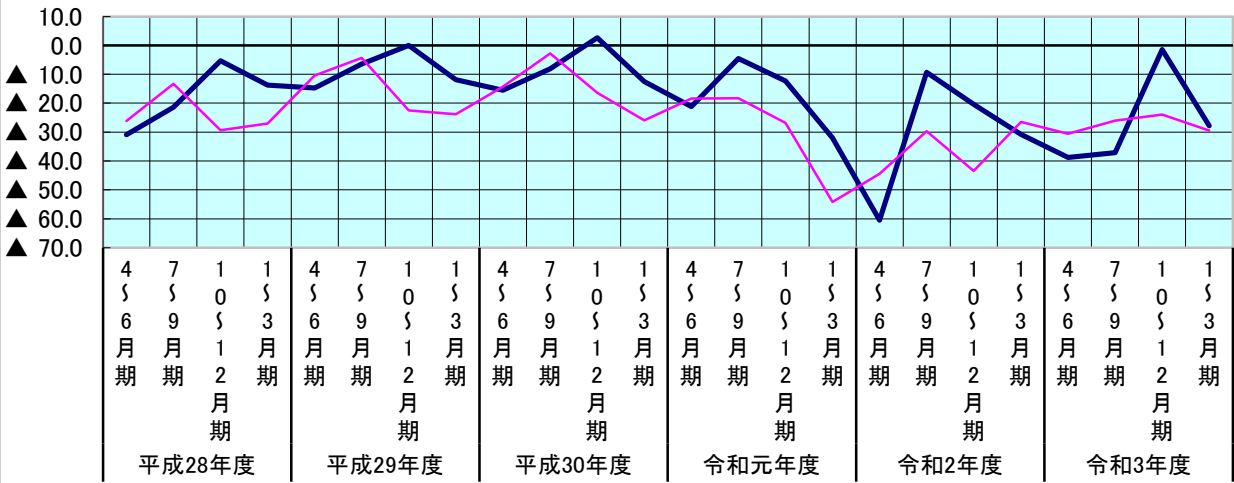
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



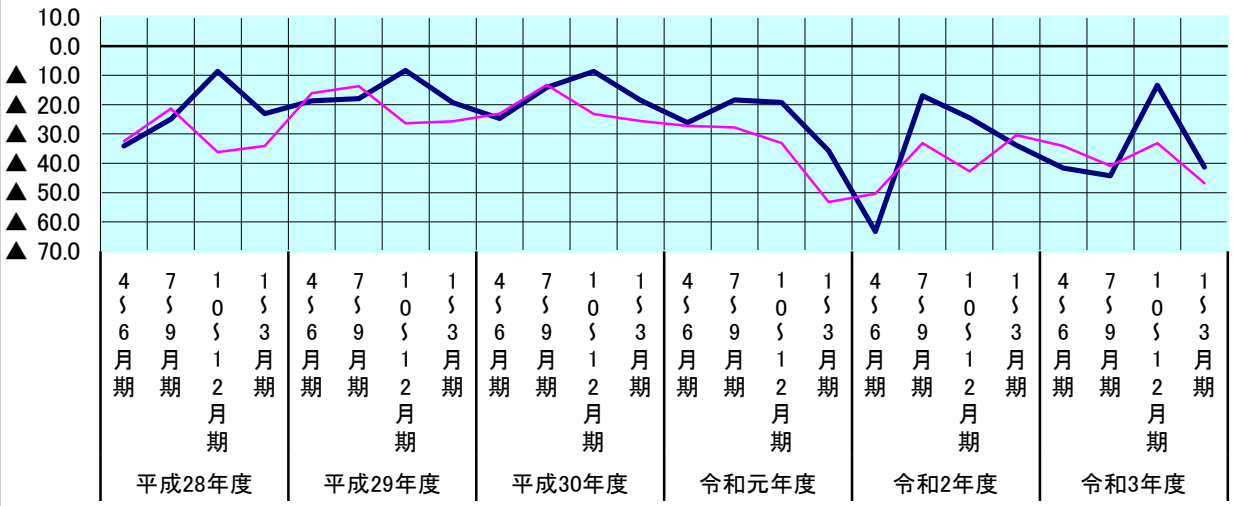
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し















採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	1月～3月 実 績			
	4～6月 見 通 し			
卸 売 業	1月～3月 実 績			
	4～6月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	1月～3月 実 績			
	4～6月 見 通 し			
建 設 業	1月～3月 実 績			
	4～6月 見 通 し			
運 輸・交 通 業	1月～3月 実 績			
	4～6月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	1月～3月 実 績			
	4～6月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い